

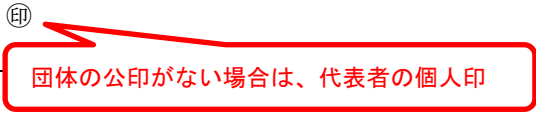
地域福祉活動支援事業（一般助成） 報告書

神奈川県社会福祉協議会 会長 殿

令和6年度地域福祉活動支援事業について、関係書類を添付のうえ次のとおり報告します。

※必要事項を記入または☑をつけてください。

（1）団体の概要等

団体名	ボランティアグループ〇〇の会		
代表者名	神奈川一郎 		
担当者名	横浜 花子		
担当者住所等	〒	221-〇〇〇〇	
	横浜市神奈川区鶴屋町〇-〇		
	tel	045-311-〇〇〇〇	e-mail 〇〇〇〇@〇〇〇〇
団体の属性	☒ セルフヘルプグループ・当事者等 ☐ ボランティアグループ等		
	☐ 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		

（2）助成事業の概要等

助成事業名	「多文化学習交流会」開催事業		
助成額等	助成額	150,000 円	
	うち戻入額	0 円	
実施内容	※目的、対象、日程、会場、講師、内容、参加者人数等、実施状況を具体的に記入。 外国に繋がる人々や地域住民がともに学び、交流を通して相互理解を深めるため以下の取り組みを行った。 ○多文化学習交流会を4回（7・9・12・2月）×2地域（横浜市○公民館、厚木市△児童館）計8回実施。 対象：外国籍住民や地域住民で関心のある方 参加人数 延べ144人 ○各回の内容 ・第一部（学習） 研究者の講演（外国籍住民の現状等）、外国籍住民のレポート(生活上の困りごと等) 7月：○○大学○○教授 講演テーマ：○○○ レポート：○○国籍 ○○氏 9月：○○○○～～ 12月：○○○○～～～ 2月：○○○○～～～ ・第二部（交流）各国の遊びや季節の行事等を通じた交流 7月：テーマ：中国の七夕 9月：テーマ：○○ 12月：テーマ：○○ 2月：テーマ：○○ 可能な限り、具体的に記入。適宜、関係資料を添付		

（3）助成事業実施による成果及び課題

（例）外国籍児童の学習サポートの他、外国籍住民の孤立を防ぐため、年に4回（〇月、～）、横浜市〇公民館、厚木市△児童館の2か所で学習交流会を行った。〇月の〇〇では、〇〇をテーマに〇〇大学の〇〇教授の講演、〇〇国籍の方からレポートを行った。外国籍住民の課題等を共有しながら、これまで接点を持つことのなかった人々が繋がり、最近では外国籍住民が自治会活動に積極的に参加するケースも見られるようになった。〇月には〇〇をテーマに実施し、第二部の交流会では、〇月は〇〇～、〇月は〇〇～と季節に合わせたテーマで遊びの中に学びを取り入れて実施した。前回参加した外国籍住民が他の住民を誘って参加するなど回を追うごとに参加者数が増えたことも特徴であった。

課題としては利用している公共施設の利用に制限があること、学習サポートの講師が不足していること等があげられる。

（4）助成事業の今後の展開について

（例）助成事業を通して〇市職員とも繋がり、事業への理解を深めていただいたことで、市の施設を減免利用できる見通しが立った。このため、学習サポートの開催回数を増やすことで、これまで以上に外国籍児童を受け入れる素地ができた。また、市の広報紙やホームページで、講師の募集について周知していただけることになったため、事業をより充実させることができるものと考えている。更に〇市に隣接する△市での活動の幅を広げるため、〇市と同様に行政や関係機関との連携を更に深めていく。これらの事業を通し、将来的に外国籍住民が地域住民と共に活動の担い手となっていただけることを期待している。

地域のバザーなどにも積極的に参加し、自主財源の確保に努めていく。

本助成事業は連続して3回までの助成が上限です。事業を継続する場合は、今後どのような資金を得て活動を維持するのか、自主財源の獲得方法等今後の方向性を具体的に記入してください。

（5）助成事業決算（見込）書

収入			支出		
科目	説明（積算根拠等）	金額	科目	説明（積算根拠等）	金額
助成金収入	地域福祉活動支援事業助成金	150,000	諸謝金	講師謝金@15,000 円×8 名	120,000
自己資金等	参加費収入@300 円×144 名	43,200	旅費交通費		0
	寄付金収入	26,800	印刷製本費		0
			通信運搬費	案内用切手 @84 円×75 枚×8 回	50,400
			会議費	交流参加者会飲物代 @150 円×18 名×8 回	21,600
			消耗器具備品費	再生紙 10,000 円 (@1 箱 2,000 円×5 箱)、案内封筒代 10,000 円 (2,000 円×5 箱)	20,000
			賃借料	会場利用料@1,000 円×8 回	8,000
			保険料		0
			手数料		0
収入合計		220,000	支出合計		220,000

自己資金等は事業総額の 5 分の 1 以上とする。助成金戻入が発生した場合も同様のバランスを維持する。

助成の対象外の経費（科目）は記載しない（総額に含めることは出来ません）。

※助成金額は助成対象経費総額の 5 分の 4 以内であること。
※申請時の予算書を基に作成すること。但し、戻入のあった場合、助成金額を記入。
※支出科目別に合計金額を記載すること。この科目以外の経費（科目）は助成対象外経費（科目）として、助成対象外経費（科目）欄に 0 と記入。
※説明欄に積算根拠を記入しきれない場合は、詳細を記載した用紙を別途、提出すること。

収支を一致させる（自己資金で調整して下さい）

※科目には金額を記入。

自己資金等は事業総額の5分の1以上とする。助成金戻入が発生した場合も同様のバランスを維持する。

助成の対象外の経費（科目）は記載しない（総額に含めることは出来ません）。

収支を一致させる（自己資金で調整して下さい）

報告書と併せ、以下①～④を提出すること。※③は確定後の提出で構いません。

①助成事業対象経費の領収書等の写し ②成果物 ③団体の年度事業報告・決算書 ④ホームページ用報告書（データ提出）

事務局使用欄	No.	受理日	月	日	備考欄
--------	-----	-----	---	---	-----